

外来診療

1. 対象疾患

●アレルギー性疾患

気管支喘息、食物アレルギー、アナフィラキシー、好酸球性肺炎、好酸球性胃腸症、好酸球増多疾患など

●膠原病、および類縁疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーテス、抗リン脂質抗体症候群、皮膚筋炎、多発性筋炎、強皮症、血管炎症候群、成人スチル病、MCTD、シェーグレン症候群、膠原病合併妊娠、不明熱など

2. 検査

●関節超音波検査

関節超音波検査は関節リウマチの早期診断、活動性および治療反応性の評価に有用であることが知られています。

当科では関節超音波検査を取り入れた日常診療を行っています。

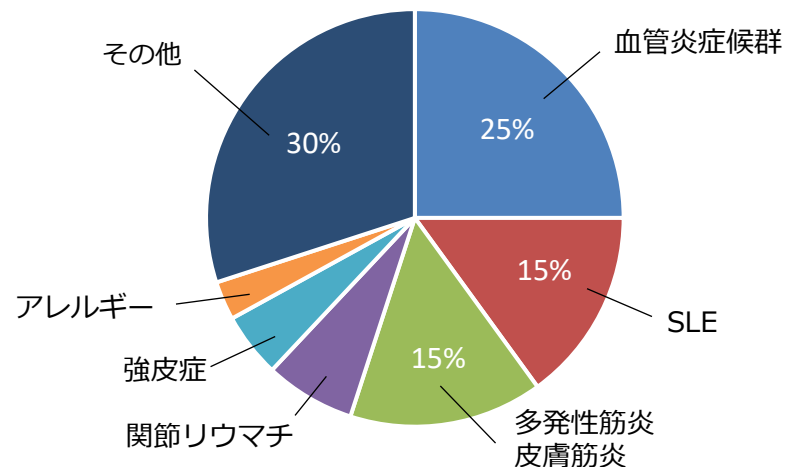


アレルギー検査外来

2012年度よりアレルギー検査外来を開設し、主に食物アレルギーやアナフィラキシーを起こした成人患者を対象に、アレルゲン特異的IgE抗体、プリックテスト、プリックtoプリックテスト、チャレンジテスト等により詳細なアレルゲン検索を行っています。

50%以上の患者さんで原因アレルゲンの同定に至っています。

入院患者割合



診療実績

- ・関節超音波検査：約600件／年
- ・外来通院患者数：約1800人／年
(アレルギー疾患 約200人、膠原病・リウマチ性疾患 約1600人)
- ・入院患者数：約200人／年